



湧雲

第7号
2015年8月30日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
16,724名

デザイン・印刷・SALAT (株) サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel: 079-284-1380 http://www.salat.co.jp



白樺は空に向かって立つ

飛び込んでくる。尖塔が青空に向かって天を突き刺している。席は眺めの良い場所にリザーブされていて満席の中でこの一角だけは多少場違いな気味

午前中の越冬作業を終え、他の委員は看板設置などの植樹作業の受け入れ準備に入る。学校前では岡戸学校長、松本教頭、加納学年主任、生徒は時間前に集合。あわせるかのようにはバスが到着、即全員乗車してマザーズカントリーへと気持ちの良いバス旅となる。心地良い揺れの中、左に折れて山道を抜けると目の前に教会が目

に教会が目につく。尖塔が青空に向かって天を突き刺している。席は眺めの良い場所にリザーブされていて満席の中でこの一角だけは多少場違いな気味

の霧囲気ではあるが美味しいお昼の食事が始まる。簡単に今日のスケジュールを説明。ご飯もお代りがあり、楽しく腹いっぱい。の食事。済んでコーヒータム。

スケジュールの進行が早く迎えのバスが来るまで時間が持たないので全員外に出て附近を散歩。放たれているヒツジと戯れている間に教会で挙式を終えた新郎新婦がフラワージャワーを浴びながら降りてきた。生徒が正面で羨望の眼差しで拍手をしていた。幸せな瞬間は思わず誰もが出てくるのだろう。階段に並んで出席者の記念写真を写している間も楽しそうに見ていた。

これもサブライズだったろうと思う。生徒は男子8人。再びバスに乗り込んで雨の被害から修復された晩秋の山道を揺られて会場までつづら折れを繰り返す。13時45分に会場に着いた。広場で下りて会場上部まで全員歩く。ヘルメットをかぶり準備万端。足元も長靴でなくとも短靴で充分な状態になってくれた本当によかった。委員長から植樹に際しての説明を終えて播種作業に掛かる。2人1組になってバケツに入った種を7歩毎に足元に蒔いていく。進むたびに平地に吸い込まれていくように斜面を下っていく。

種は直ぐに根を出して来春に備えるし、雪融けと共に芽を出すだろう。とは言っても実物が無いのは心もとないの

で苗木を2本用意した。4人1組になって水を注ぎながら土を寄せる。添え木をカケヤで打ち込む中、しっかりと縄で苗木を固定して植樹は終了となった。全員で記念写真を写してクライマックスを迎える。で、迎えのバスの来るのを待つのが時間があるのでこの広場から恒例となった学校の俯瞰探索、双眼鏡で、目視で学校を探して手を振る。

それでも時間があるので「徒歩15分で沖里河山へ行けるぞ」と投げかけると「よし！いくぞ」と乗ってきた。「レッツゴー」下から眺めていたが変なコースに入りかけたので後を追う。頂上直下で追いついたが頂上からの360度の景色を眺め、学校を始め何処までも広がる眼前的の平野を眺めたことは思いがけないサブライズとなった。双眼鏡で学校の位置を確認するたびに歓声が上がる。納内の町並みを眺め、深川の町並みを眺め、旭川の街並みを眺め、陽に照らされてキラキラ輝く雄大な大雪連峰の冠雪を眺め、火照った身体を吹き抜ける風で冷やしている生徒に羨ましさとも未来への希望を託しながら、直下の駐車場に迎えに来てくれたバスへと向かって階段を下りたのであった。ここにいる時間のほうが長かったかもしれない。様々な出来事があった今回の行事

第5回の卒業記念植樹開催される

第67回(H27年3月)卒業予定者
参加者 岡戸校長・松本教頭・加納主任
生徒・8名
同窓会・岡部、平田、篠原、竹林、堀川、溝口
運転手・秋沢



植樹風景



校舎のドングリを蒔いた

それは、雪融けと共に芽を出すだろう。とは言っても実物が無いのは心もとないの

で苗木を2本用意した。4人1組になって水を注ぎながら土を寄せる。添え木をカケヤで打ち込む中、しっかりと縄で苗木を固定して植樹は終了となった。全員で記念写真を写してクライマックスを迎える。で、迎えのバスの来るのを待つのが時間があるのでこの広場から恒例となった学校の俯瞰探索、双眼鏡で、目視で学校を探して手を振る。

それでも時間があるので「徒歩15分で沖里河山へ行けるぞ」と投げかけると「よし！いくぞ」と乗ってきた。「レッツゴー」下から眺めていたが変なコースに入りかけたので後を追う。頂上直下で追いついたが頂上からの360度の景色を眺め、学校を始め何処までも広がる眼前的の平野を眺めたことは思いがけないサブライズとなった。双眼鏡で学校の位置を確認するたびに歓声が上がる。納内の町並みを眺め、深川の町並みを眺め、旭川の街並みを眺め、陽に照らされてキラキラ輝く雄大な大雪連峰の冠雪を眺め、火照った身体を吹き抜ける風で冷やしている生徒に羨ましさとも未来への希望を託しながら、直下の駐車場に迎えに来てくれたバスへと向かって階段を下りたのであった。ここにいる時間のほうが長かったかもしれない。様々な出来事があった今回の行事



ミズナラ



芽が出たミズナラ



第67回卒業記念植樹集合写真

は思いに残るものとなったし、生徒の力量も知ることが出来た。乗りが良ければ大きな喜びを得ることが出来ることを体験できた。現代っ子の扱いの手探り状態だが年々感触は良い。新しい展開が拓けることを期待したい。
事業としては得るものが多く充実した内容で終了した。

宮脇記念桜

早い春満開に咲き誇る

例年になく春は早く訪れ「鉦路八重桜」も5月5日の開花となつてしまいました。例年は中旬以降なので如何に暖かい春だったかと言うことです。3本とも花数が昨年より一段と増えてきたので、又、来年以降がとも楽しみます。幹も太くたくましくなつてきて、横への枝の広がりが出る尚一層美しくなるだろうと想像します。

開花から間もない11日に宮脇氏が見えられ「八重桜が満開に咲いていました。」と八重桜を見てきたことの報告に立ち寄つていただきました。そして又、今回も帰り際には多額の浄財を手渡されたことを記しておきます。何度もお世話になりながら引き続き同窓会活動にご協力をいただいていることに感謝しております。

この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



八重桜は豪華に



満開に(5月8日)



満開を過ぎて(5月14日)

校庭の樹木管理状況

植栽後の現状

植栽後の校庭現状を紹介しておきます。

【ユリノキ】
ここ数年で一気に太さを増して見上げるほどになりました。花が咲くのが待ち遠しいです。

【アオダモ】

野球のバットを作るまでにはなっていないが幹はバットのグリップの太さにもう少しですが背丈は超えました。

【シラカンバ】

少花粉シラカンバはなかなか太りません。3本は元気ですが2本は植え替えが必要となりました。白い肌に輝くのはいつの頃になるのでしょうか。

【エゾヤマサクラ】

校庭の土になじんで活着したのでぐんぐん伸びてきました。現存の桜の寿命も見えてきていることから早い成長を祈っています。

【シウリザクラ】

春の新芽が美しくてどんどん伸びていきます。花が咲くにはまだ時間がかかりそうです。

【ヤマボウシ】

下枝の整理が必要でです。活着したので大きく育つので大きくだけですが花が咲くまではまだまだ時間がかかります。埋め戻しの土壌が垣間見えることから不安があります。

屋上から車回しを俯瞰



校庭の桜



深川西高等学校「緑の学舎運営委員会」

<26年度・事業報告>

昨年報告済み

- ◎26.2.20 第1回運営委員会 源平にて
- ◎26.3.19 臨時運営委員会 市議会議室
「緑の学びや運営委員会 5周年記録史」完成
- ◎26.4.18 現地調査
- ◎26.5.4 春作業 雪囲い撤去、追肥、ヤマボウシの植樹を行う、5本

未報告分

- ◎26.5.18 山で春作業 雪囲い撤去、防除作業
- ◎26.5.20 宮脇氏より委員会の記録史発刊に際してご寄付あり
- ◎26.6.2 校庭と山の防除作業(岡部・内村)
- ◎26.7.16 校庭のオオクロアリの駆除(溝口)
- ◎26.7.17 干ばつが続くヤマボウシ等に灌水(岡部)
- ◎26.8.18 第5回卒業記念植樹参加要請を送付
- ◎26.9.23 秋季作業下見(溝口)
- ◎26.9.30 記念碑上部の地こしらえ作業(岡部委員長立会)
- ◎26.10.12 秋季作業(岡部、平田、篠原、堀川、竹林、溝口)
合わせて卒業記念植樹を行う(卒業予定者8名 学校関係者3名)
- ◎26.10.19 秋作業追加作業(溝口)
- ◎26.10.25 秋季作業、校庭木越冬作業(岡部、篠原、堀川、坪田、藤井、溝口)
- ◎26.11.12 植林作業地の確認(岡部、溝口)
- ◎27.1.1 2014年度事業報告書及び礼状集編集始め
- ◎27.2.19 27年度第一回運営委員会開催
役員改選で委員長交代。委員の交代あり
2014年度事業報告書及び礼状集発行し配布
- ◎27.4.13 ヤマボウシの雪囲い取はずし(岡部)
- ◎27.4.19 校庭の雪囲いのナワはずし(溝口)

<27年度・事業計画>

【校舎周辺】

- ◎母校の植栽木の生育、安全等の確認
- ◎10年計画による植栽木、老木を更新する予定。イチイの補植。モミジ伐採。
- ◎宮脇サクラの管理

【記念植樹地】

- ◎記念植樹の桜の追加と管理
- ◎現地整備 駐車場の確保・植栽周辺の環境整備
- ◎植樹後の管理作業

【同窓会林】

- ◎希望者対象者の修練道場、湧雲の白樺見学サポート
- ◎湧雲の泉の管理……水質検査の実施
- ◎間伐地の管理、作業道の管理
- ◎学校林作業道の排水管理

【卒業記念植樹】

- ◎第6回の卒業記念植樹(68回生)

【研修会等及び啓蒙事業】

- ◎林産試験場視察(ヤマボウシ等の成木研修、卒業記念植樹等の樹種調査)
- ◎他団体と協賛事業「山野草を巡る集い」 今年では中止

役員改選

2015年度

第1回緑の学び舎運営委員会 報告

出席者：大西会長、

岡部、平田、坪田、溝口、堀川、篠原、三上、寺下、妻神、石川

欠席：内村、竹林、藤井

(1) 岡部委員長挨拶

(2) 大西同窓会会長挨拶

(3) 委員に委嘱書

同窓会長より運営委員長指名

岡部委員長から委員会の事業継続のために後輩に道を譲りたいとのことで今回の指名になった。大西会長より坪田委員を指名。

坪田委員長より副委員長に堀川委員を指名

(4) 今年度の作業内容を委員長から報告

春期 校庭のイチイ、ヒバの点検

倒木のイチイ処理、枯れ枝処理数箇所

校庭と山の冬囲い処理

夏期 看板設置＝湧雲の泉、修練道場、他3箇所確認

秋期 第6回卒業記念植樹

冬囲い作業

(5) 2014年度事業報告書配布

坪田委員長、堀川副委員長から挨拶がある。

終了後、全員で記念撮影を行う。

緑の学び舎運営委員会・新体制

委員長	坪田 邦光	23	新
副委員長	堀川 勝之	14	新
専門委員	平田 廣美	6	新
〃	岡部 誠二	7	新
委員	篠原 有	10	
〃	内村 丈夫	10	
〃	寺下 良一	19	新
〃	妻神 卓八	23	新
〃	石川 雅志	23	新
〃	竹林 均	27	
〃	藤井 雅仁	31	
〃	三上 貴康	32	
事務局	溝口 信義	18	



委員集合写真

26年度事業報告集発行

記録史「緑魂は時空を超えて」の発刊に際して多くの方から感想をいただいた。これらをまとめて委員会の内部資料として残しておこうということになった。折角なので26年度の事業報告を合わせて掲載した。40部を作成（自家製本版）

寄せられた中から寄稿として掲載します。

記録史「緑魂は時空を超えて」にふれて
野原 安雄（6期）

この記録誌は素晴らしい。「緑の学び舎」事業にかけける熱意を、どの頁や写真にも込めている編集者らの熱い息遣いが伝わってくるようです。

まず、表紙の題字が独創的。自由奔放で想像力をかき立てられる。遊び心もあつておもしろい。

写真も校庭に花開く鉦路八重桜。やがて学校林でも、春來たらば一面に咲きほころびる様をイメージさせている。また、内容も実に豊富で西高の創生期から今までの歴史が読み取れる貴重な物。どの文が最もその時代の様子を再現できるのかもよく吟味されているようです。宮武先生などの懐かし方や学友の名もあちこちに出てきて、まさに卒業以来62年の時空を超えて今に蘇ってくる感じです。写真も実に鮮明で、これを目にしてい

るだけでも楽しめます。

植林の苦労。雪害や山獣に食われても踏みつけられても諦めず作業し続けられた方々にも感謝。中心になられた平田君らが山の専門家であり、その方々の並々ならぬ熱意が、多くの人々を動かしたこの事業を継続化させた決め手になったものと思います。

学校創設の元にもなった宇佐美常治郎伝も実に興味深く拝読。これほど豊かな見識を持っておられた篤志家の篤い願いが込められた校舎や校庭で学んだかと思うと感慨もひとしおです。

最後に、「緑の学び舎運営委員会」の自己紹介と挨拶のページもぐんと親しみやすい構成となっていてこれまたユニーク。この方々の献身的なボランティア活動も宇佐美氏の精神を引き継いでいるものと思います。

「自由の学園」として深川西高は、かつては全国的に著名。その出身者として、この62年生きてこられたことに心から感謝したい。そして、「西高に 永遠の栄えを！」と願っています。



同窓会総会開催報告

4月27日プラザホテル板倉にて、桜の便りに後1日を要する陽気の中で第72回総会は開催された。大西会長の挨拶。折からPTAの会合も同じ日の同じ時間に開催されることもあって学校長は挨拶を終えて退席となったのが残念ではあったが、中本議長の進行で議事は進められ幹事長から提案された事業報告、決算報告は監査報告を経て承認され、事業計画予算案も満場一致で承認された。本総会において役員改選となるわけですが、事務局案の提示前に役員会で

協議された同窓会の組織の改編の説明を行い組織の強化を図ることにした。諸事業を執り進めるに当たって事業別の委員会制を執ることにして役員とは別に委員の拡充を図ることにした。この組織改編に伴って役員の補充をし、人選に当たっては事務局提案で承認をいただく。副会長の強化と幹事長の交代に伴って副幹事長の補強を提案した。

最後に大西会長より再選に当たって参会者の協力をお願いして総会は終了した。

【役員構成は別記】

平成26年度事業報告

自・平成26年4月1日
至・平成27年3月31日
1、会議・行事に関する事項
（平成26年（2014））

4月8日・平成26年度（第69回）入学式 入学生126名
4月30日・転入教職員歓迎会
5月12日・役員会
5月22日・第71回定時総会 参加者 44名
8月20日・同窓会会報第6号発行
10月12日・第5回の卒業記念植樹挙行（第67回生）「ミズナラ」

【同窓の集い】

8月7日・第1回同窓の集い 打ち合せ末尾7期 実行委員 長は中本博大さん
9月12日・最終打ち合わせ 券集約等
9月20日・同窓の集い 参加者 246名
（完券枚数303枚）
12月2日・同窓の集い反省会
（平成27年（2015年））
2月27日・同窓会入会式 入会者138名
3月1日・第67回卒業式 卒業生138名
3月23日・転出・退職教職員送別会

【参考】

4月7日・会計監査
4月20日・役員会 日の出会館

2、会報の編集

①臨時号・発行なし
②本 号・8月25日第6号
（通算・第16号発行）
協賛者と卒業者と4年毎の会員のみに送付

3、母校の後援に関する事業

①10年計画による前庭の植栽の点検（7年目）

4、各部で活躍する在校生への支援

体育系、文化系共に全国大会、全道大会へ出場する生徒へ支援

③10月12日・卒業予定者8名による記念植樹「ミズナラ」

④プレス幕の貸与。大型のプレス幕を新規に作成（2014/12）
国旗掲揚塔に使用の校旗作成（10枚）（2014/12）

⑤会旗、部旗、健闘幕作成貸与

④、会員相互の親睦、交流に関する事業
①同窓の集い（上記報告済み）
②各支部現況報告（同窓会会報にて報告）
③各期の動き（同窓会会報にて報告）
④同窓の夕べ「実行委員長」のタスキ作成、初使用。

5、同窓会林に関する事業

①同窓会林訪問は今期中止（個別にはあり）
②湧雲の泉の周辺整備と管理、作業道維持管理
修練道場跡地、湧雲の白樺、維持管理

卒業記念植林地の維持管理作業実施：・随時「桜花爛漫」会場林地の維持管理
校庭の樹木管理。ヤマボウシ5本植樹
③同窓会林の維持管理。作業道、管理道路整備
④森林組合関係（事務連絡）
◎総会 5月30日（経済センター）
委任状で議決権を提出済み
◎3月2日 地区別懇談会
音江公民館で開催 欠席
5周年記録史の礼状等を収録、2014年度事業報告集とあわせて編集

6、その他、本会の目的達成のため必要な事業

①同窓の部屋の収蔵品の収集継続
（今年収集した資料）
学校より・関係諸行事発行資料。旧中5期生のエッセイ集（上下巻）
②記念誌・名簿・CDの在庫状況
③HPの開設中
<http://mypage.fukagawa.com/nishikou/>
④写真パネル：現有 90枚余所蔵、管理保管は学校。
⑤深川の紹介サイト「深ナビ」に登録継続
⑥開校60周年記念テレホンカード処分方法の件：147枚
額面500円が金券ショップでの引き取りは100円なので同窓の夕べで処分か

平成26年度 決算報告

収入の部

項 目	金 額	備 考
前期繰越金	47,818	
入 会 金	201,000	135名×1,500円
振 替 金	400,000	
雑 収 入	1,014,650	会報協力金等
合 計	1,663,468	

支出の部

総 会 費	93,636	
役員会費	30,132	
会議費	77,166	
交際費	177,500	全国・全道大会、歓送迎会
事業費	771,088	会報、校旗、吹奏楽等
通信費	7,280	
印刷費	5,600	
広告宣伝費	5,616	新聞広告
事務費	0	
雑 費	3,024	
次期繰越金	492,426	
合 計	1,663,468	

平成27年度事業計画

自・平成27年4月1日
至・平成28年3月31日

1、会議・行事に関する事項

例年通り実施

2、会報の発行・名簿の作成事業

①第7号の発行予定

②会員名簿の発行

3、母校の後援に関する事業

その都度、必要に応じて対応

第6回卒業記念植樹の開催：10月11
12日を予定。

4、会員相互の親睦、交流に関する事業

①同窓の集い

日程・平成27年9月19日（土曜日）
実行委員会の構成：末尾「8」期
実行委員長の選任：18回生 宮岸
徹一さん

②各支部との連携の強化

③各期の動向把握の強化
各期へのアンケート実施 各期の
幹事の確認作業推進
④HPの更新作業、深ナビへの情報更新
⑤その他

5、同窓会林に関する事業

①「緑の学び舎運営委員会」の運営

②森林組合との情報交換 連携強化

③森林経営計画における必要時の森
林経営委託契約

④その他

⑤その他、本会の目的達成のため必
要な事業

①同窓の部屋収納品収集（継続事業）

②卒業記念CDの管理（継続事業）

③必要に応じて写真パネルを追加作成

④20年記念誌の復刻版の販売中
（S33年9月発行の記念誌）

⑤緑の学舎運営委員会記録誌
残部若干あり

新体制

役職	氏名	期
会長	西道祥	17
副会長	大今成	17
"	成田昭彦	18
"	溝口信義	18
"	宮川央子	21
"	寺岡義子	22
"	坪田邦光	23
"	成田雅敏	28
幹事長	大西祥太	19
副幹事長	吉田登美雄	28
"	木根和美	27
"	田中昌幸	31
"	宮沢孝司	31
"	三上貴康	32
(校内幹事)	広瀬直美	31
会計幹事	畑博善	23
監事	板倉克宏	12
"	水上真由美	33
相談役	平通明	旧1
"	利波清一	旧3
"	渡辺一義	6
同窓のタベ会計	及川賢一	54
校内OB	田中直美	27
"	広瀬直美	31



各期動向報告

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

〔旧中一期〕

八十九歳からの年齢になり、連絡
が取れない状況です。自然消滅。

〔旧中二期〕 (旧制深中二期会)

平成十四年を最後に同期全員の開

〔旧中三期〕 (旧制深中第三期同期会)

毎年開催。十七年には記念誌を制
作。十九、二十、二十一、二十二も九月
札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、
二十四年も十月に開催。二十五年十
月開催を最後として区切りをつけた。
深川市内の有志は年に一回集まっ
ている。(別頁記載) (利波清一)

〔旧中四期〕 (旧制深中四期生)

平成十五年と二十年故・中島武敏
元代議士を囲んで(ふれあい会館)
集まったのが最後。全体の集まりは
高齢の為、開催していません。今後
の予定もなし。(波多野栄)

〔旧中五期〕 (旧制深中第五期会)

十五年鎌倉。十六年函館。十七年
札幌。十八年美唄。十九年六月深川。
十月台湾へ修学旅行。二十年には開
校七十周年記念に合わせて式典終了
後開催。二十一年以降は津田氏が亡
くなったため、札幌・平林さんが後
を引き継ぎ札幌で集っているが、集る
のが難しくなってきたため記念の
エッセイ集を二集出版した。
(別頁記載)

〔二期〕

平成六年岩見沢市、七年滝川市、
八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京
二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、
十二年滝川、十三年岩見沢、十四年
深川、十五年札幌、十六年滝川、
十七年札幌開催を最後に取りやめ。
以後開催なし。(中村隆志)

〔二期〕

(旧制中学七期・深川西高二期の集い)

毎年秋に開催していました。東京、
札幌、深川持ち回り。十二年は卒業
五十年で札幌、十三年はホテル館、
十四年は東京、十五年は札幌、十六
年は深川。二十年「喜寿の集い」を
もって期友の会を打ち上げしました。
その後、関東、関西、北海道全域か
ら同志が集まり一泊で温泉旅行を開
催二十名参加。二十七年の誕生日で
八十四歳。情報の提供を頂いていた
同窓会・監事の林 正衛さんが他界
されてから情報なし。

〔三期〕

東京は毎年開催。札幌は随時開催。

深川は三名ですが元気なし。平成
十二年を最後に開催していない。
(大鎌幸雄)

〔四期〕 (深川西校第四期生同期会)

札幌ではなんとか毎年開催してい
ます。十六年札幌は六月、東京・四
葉会は一月に開催。十七年は六月札
幌、十八年札幌開催。十九年五月
定山溪で、卒業五十五年で偶然にも
五十五名が参加。二十年六月札幌。
二十二年六月「喜寿を祝う同期会」
を開催。同期生全員に案内するのは
これが最終回でしたが二十三年六月
二十日開催。二十四年も六月に開催
いたしました。(佐藤範子)

〔五期〕

不定期開催。最近開催なし。
(南 進)

〔六期〕 (西高二九会)

われらが同士も八十歳ですが今年
もガンバリマス！
深川組は十四名。毎年旅行を実施
してきたが最近昼食会を行ってい
ます。札幌勢は年に六回集まり、東
京勢は年一回集まる。全体での開
催は十七年札幌が最後。深川支部は
二九会なので毎年六月二十九日に開
催しています。二十二年は都合によ
り二十九日開催が出来ず十九日の
開催となりましたが二十三年から
二十七年は二十九日に開催できまし
た。自分達の今後のこともあって市
内の老健施設の見学を事業に取り入
れたりしています。二十二年五月に
は札幌支部の総会も開催され深川か
らも数名参加しました。二か月に一
回の会報発行は継続しています。(別
頁記載) (平田廣美)

〔七期〕 (深西七期同期会)

三年毎に旭川、深川、札幌と持ち
回りで開催している。十四年深川で

開催、板倉に六十人参加。十七年は
五十年を札幌にて八月開催、五十人
参加。二十年旭川。二十三年九月五
日深川で開催。二十六年九月札幌開
催。今年は深川で連続開催確定。
(別頁にて詳細掲載) (岡部誠二)

〔八期〕

不定期開催。二十年六月札幌第一
ホテルで開催。高齢となり最後の同
期会と言うことで六十五名参加。そ
れ以後は各クラスやグループが少人
数で開催。二十一年八月深川在住者。
九月には札幌で開催した。(清水義弘)

〔九期〕

十年深川・十二年旭川・十四年札幌・
十六年北竜。十八年東京。毎年開催
の意向を受けて十九年秋に定山溪、
小樽。十九年三月深川在住者で開催。
二十年九月深川開催・「ゆうとゆ」に
四十七名。二十三年九月四日 沼田
ほろしん温泉にて全体の同期会を開
催しました。二十四年五月八日、東
京方面でミニ同期会。五月九日市内
在住者のミニ同期会でパークゴルフ
の会を開催。秋には東京で全体の同
期会を開催。二十五年は七月十日旭
川で開催。二十六年十月十五・十六
鬼怒川温泉で二十三名参加開催。
(別頁にて詳細掲載) (倉嶋克郎)

〔十期〕 (深川西校第十期同期会)

十五年六月に四十五周年記念とし
て北広島で開催。二十三年十月二十
日定山溪温泉にて五十八名の参加で
旧交を温めました。二十六年十月
十八日・十九日札幌にて開催。参加
者四十五名。(星野友雄)

〔十一期〕

十二年八月還暦記念を深川で開催、
十六年は八月札幌七十名。十八年十
月深川で開催。二十年札幌。毎年、

今年こそとの開催予定がお流れとなり先の見通しが立っていません。

(山森世津子)

〈十二期〉(西高三十五年卒同期会)

十三年秋、還暦同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。

(板倉克宏)

〈十三期〉(三六会・サボロウ会)

H十年HP開設 ML(倉山昭男)
<http://www.2big.or.jp/~tyclub/>
<http://www.egroups.co.jp/group/36KAI>

十四年六月還暦記念同期会を開催、板倉。二十年開催。二十二年六月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。二十八年深川近郊で開催予定。

(佐藤豊秀)

〈十四期〉

十六年五月還暦同期会を開催。深川ホテル

二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十六名、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。

(堀川勝之)

〈十五期〉(深西三八会)

以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催、六十三名が出席。二十六年に開催。(別頁にて詳細記載)

(杉山一成)

〈十六期〉(深川西高十六期卒業同期会)

五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十年で開催。

次回は二十九年に決定。

(別頁にて記載)

(星野 孟)

〈十七期〉(高十七期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回。

(濱田靖夫)

〈十八期〉(猪子会・いのね会)

十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月、富士屋にて開催六十名。東京組は毎年開催で二十年は九月、札幌組は随時集合。深川組は毎年夏、冬と開催している。

二十三年十月十六日 札幌にて開催。二十六年七月十二日開催。

(別頁にて詳細記載)

(深沢倬子)

〈十九期〉

(深川西高十九期卒業同期会)

五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で還暦同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。

(寺下良一)

〈二十期〉(深川西高第二十期同期会)

四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)。十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。

二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。道内在住者の有志で親睦ゴルフを毎年盛会の中に開催しています。冬期オリンピック開催年に東京で開催。

(小川広見)

十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。次回開催は平成三十年深川開催決定。

(梶川 寛)

〈二期〉

十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九月二十日札幌にて開催。次回開催は平成三十年深川開催決定。

(梶川 寛)

〈二期〉

十二年卒後三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。

(寺岡義人)

〈三期〉

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。

二十四年六月三十日板倉にて卒後四十年を記念して開催。

(齋田光章)

〈四期〉

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十一年で開催。

(東出周子)

〈五期〉

十四年十一月に札幌にて開催七十名参加。二十六年十一月還暦同期会を札幌にて開催。参加者八十名。(詳細は次号にて掲載予定)

(佐藤賢治)

〈六期〉(四十九年卒業同期会)

十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、昨年は二十人が集まり交流しました。

(小林健二)

〈七期〉

十六年一月二日開催し七十四名参加。今年開催の予定

(中川博行)

〈八期〉(第二十八期同期会)

三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。

(増永博志)

〈三期〉

卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。

卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催予定。

(宮沢孝司)

〈三期〉

二十四年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。

(三上貴康)

〈三期〉

二十三年八月十三日、板倉にて開催。(水上真由美・久保田隆亨)

〈四期〉

卒業二十年を十四年に深川で開催。

〈五期〉

卒業十五年を十年に深川で開催。

(田中一幸)

〈六期〉(深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催、九十九名参加。

卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生) 掲示板を開設中です。

(渡辺哲男)

〈七期〉

十四年に板倉にて開催。

〈九期〉

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

〈四期〉

二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日に開催予定。

(佐藤之彦)

〈四期〉

二十三年一月開催。

〈六期〉

二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本大震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。

(佐藤貞真)

〈五期〉

二十三年六月十三日、ブランシュネージュに五十人が集合。

(及川賢一)

ご協力戴いた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になっております。

例年通りですが、記載の情報はこの十五年間の積み重ねです。前年までの情報に新たな情報を追加しているだけです。事務局では記載の期以外は把握していません。きつと開催しているところもたくさんあるのだろうと思います。情報の収集に努めていきますし、各期の協力者を探し支援を頂きながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力しています。情報がなかなか望みがありません。情報をお寄せ頂ければより充実した会報になるのですが...

それぞれの期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載して頂ければありがたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。



我らの同期会

旧制深川中学第三期同期会

毎年続いた同期会も平成二十五年で終息したが、深川在住の者で集まり平成二十六年十月十一日・富士屋で全員六名の出席で開催した。

話題は尽きず、大いに歓談、毎年の開催を約し散会した。当日元気であった三浦巧丸君が一ヶ月後の十一月十日急逝され誠に痛恨の極みです。

長い間、同窓会の期幹事として尽力いただいていただけに残念でなりません。

第七期同期会

平成二十六年九月五日、三年毎の同期会を今回は札幌市内のホテルで札幌在住の小川慎一君、原進君が中心になって開催した。

一組五十名で、女子一組・男子三組で二〇五名の卒業生の内、鬼籍に入られた者は五十九名、音信不明者三十六名の現況であり、案内状送付者一〇名の内出席者は女子十四名、男子二十二名、地区別では本州四名、札幌十六名、深川八名、他はバラバラながらも総勢三十六名の参加で盛会であった。

遠くは神奈川県から後藤盟君、宮城県から佐々木勇三郎君、千葉県から真田幸三君、松野佐和子さんが参加されました。又、高木靖史君は卒業以来、初めての参加で六十年ぶり。しかも途中で失明の不幸に逢い



ながら、その道の教育に携わってきた情熱と努力の道のりは同期の称賛の声しきりであった。

今回は当別町で農民オーケストラの中心で活動しているバイオリン弾きの高橋幸治君と札幌在住の小林恵子さん、山本絹枝さん、村上純子さんが幹事として同期会の運営を盛り上げていただいた。短い日帰りの日程ではあったが参加者一同大変喜んで、これからは年齢のことを考える

と三年毎ではなく毎年開催しては？との、安岡 顕君（深川市）の発言があり、毎年同期会を催すことと成った。

さて、その二十七年の開催については過日深川市を中心に幹事会を開いて、平成二十七年十月九日（金）に開催することが決まりました。深川駅集合→西高校訪問→トトロ峠→同窓会林（修練道場を含む）→沖里河山→マザーズカントリ（夕食会）→道の駅・深川駅で散会となります。好天を願いながら多くの参加者をお待ちしています。（岡部誠二）

第9期同期会（会長・仲野勝介）

平成26年9月15日～16日
鬼怒川温泉ホテル「三日月」で札幌、仙台、静岡、東京周辺の人が23名集合。85歳になられた津田（旧姓・満田）先生をお迎えし開催いたしました。16日は東武ワールドスクエア



を見学、飲んで、食べて、観て語った楽しい同期会となりました。



満田先生

又、地元深川市内在住者は恒例となった同期会を平成27年6月15日に開催しました。年1回の集いですが数年振りの参加者もあり、近況を語り合い楽しいひとときを過ごし、明年の再会を申し合わせました。（倉嶋克郎）

深川西校第10回卒業生の集いについて

我が卒業生の集いは昭和63年に卒業30周年を記念して定山溪で開催、じつ概ね5年ごとに実施されており今回は6回目の開催になります。いずれの集いも札幌在住の片山義弘くんを中心に普段から面倒見のいい方々の尽力で開催されて参りました。まことに有難いことです。さて今回の集いについて概要を紹介いたします。

秋も深まった平成26年10月13日札幌のすすきのにあるジャスマックプラザホテルで開催されました。

ホテルでは、受付の阿部伸子（旧姓宮岸）さんや各組の幹事さんが懐かしい笑顔で出迎えてくれ部屋割りと参加者名簿をいただきました。

渡された名簿を見ますと男性21人女性25人合計46人で殆どの方は道内ですが東京方面から3名の方が参加して下さったそうです。残念ながら高齢のため恩師の参加はなかったようです。

早速入浴、雑談の後鎌田昌男くん



の司会で物故者に対する黙祷のあと片山義弘くんの幹事長挨拶で懇親会が始まりました。今年、後期高齢者の仲間入りした同期生は、配偶者・子供・孫の話、もの忘れ、持病と健康維持、趣味や生きがい、恩師や同期生の情報など席を交えながらおいしいお料理を食し、酒を酌み交わしながらつもる話に花を咲かせていました。年のせいか、男性は大声で話すものも大酒のみもいなくなり概して穏やかで、女性はおしゃれで若々しく思えました。懇親会後は個室に移り、気の合う者どうして語り合い秋の夜長を楽しみ翌朝朝食後別れを惜しみなが

ら各自帰路につきました。
あつという間の楽しく、懐かしい
卒業生の集いでしたが幹事の皆さんの
心配りに感謝申しあげ同期生の皆
さんの健康長寿を祈念し筆をおきま
す。
(星野友雄)

第15期同期会

平成26年10月18日(土曜日)
プラザ富士屋
当初9月20日を開催予定にしてい



だが「同窓の夕べ」開催と重なった
ことから日程を変更し、佳境に入っ
てきた我々が一同「古希を祝う会」
と銘打って秋の深まる10月に開催し
た。参加者54名。今回、最遠は名古屋
からに加え関東地区からも駆け参
じて古希を謳歌しました。1次会、
2次会とも富士屋さんをお願いし、
腰を据えて飲んで、話して、食べて
時間を過ごしました。簡単ビンゴ抽
選会を楽しみ、記念品には法音寺住
職発案の健康祈願を珠に込められた
「念珠」を用意してお持ち帰りとし
ました。
3次会以降は近くのマルジュー旅
館での宿泊組の処に押しかけて延長
戦に入ったようなので、その後のこ
とはわかりません。(杉山一成)

第18期開催報告

泊まるもよし、帰るもよし、
話すもよし、飲むもよし

少々曇り空ながら午後2時過ぎに
は早くも到着し始めて前哨戦。積み
上げられた昔のアルバムをめくりな
がらすでに話は弾み午後4時からの
受付を待つ。午後3時頃到着予定の
市内観光組も遅れて到着。受付は深
川組のおもてなし女性軍。男性軍は
別準備に忙しい。

お年もお年になってきたので酔っ
ては顔の締まりが悪くなるので開始
前に全員で集合写真、無事キリッ
とした顔で納まり宴に入る。松本 豊
君の司会進行で世話人代表の宮岸徹
二君が軽妙な歓迎あいさつ。津田、
澤村両先生から昔を偲びながらの近
況報告。今回の最遠方は、滋賀県か
ら車を運転してきた北海道長期滞在
予定の佐藤 徹君が乾杯。

しばし歓談。皮切りに48年ぶりの
初参加組橋本、川村、松永(高橋)
3名から近況報告。他の参加者も順
次近況報告となった。今回は参加者
45名と少数精鋭で行われたので時間
に追われることなくそれぞれの近況
報告を終えることが出来た。ここで
一次会終了。一次会の中締めは千葉
から参加の常連、小山 治君。舌の
滑りも絶好調で一端一区切り。
少し間があつて二次会へ。二次会
の発声は青森からの参加のこれまた
常連、佐々木 悟君。前日から引き
続いて全開モード、高らかに乾杯。



目の前のスペシャルテーブルにはメ
ロン、とうきび、さくらんぼ、漬物、
山菜の煮しめが山と並んでいる。後
は飲み物があれば十分。深川ならで
はの食材を肴にみんなの話が一層盛
り上がる。残酷にも時間は容赦なく
過ぎていく。時間の都合もあるので
それぞれ随時退席して行く。札幌、
岩見沢方面が大挙して退席、次回の
再開の楽しみを胸に秘め手を振って
名残を惜しんでいた。

三次会はレストランで延長開催。
本日の飲み足りない功労者・松本
豊君の発声で最後の参戦に突入。酔
い増し組の追加アルコールと酔い覚
まし組のコーヒーで時間が静かに過
ぎていく。時計が12時を指し示す頃、
従業員の方にも店にもこれ以上無理
をお願い出来ないの皆さんの健康
と次回の再開を念じて高らかに溝口
君の三本締めで同期会を終了しまし
た。

この後はまだまだ武勇伝がありま
すがとりあえず、元気の良い？酔
い？(どっちだか...)メンバーは
「ラーメンを食べて更に一杯飲んで
旅館に帰るぞ」と氣勢を挙げて深
夜の街に消えて行きました。

深川西高等学校第31回生

同期会(昭和54年卒業)

日時 平成26年8月16日
場所 プラザホテル 板倉
「第31回生同期会(卒業35年目)」

代表幹事 宮澤 孝司

出席者

出席先生

長尾 教逸・戸田 輝
夫・沢村 豊

卒業後20年、30年と2度の同期会
を開催、今回は3度目(卒業35年目)



の開催となりました。3人の先生に
ご参加を頂き、楽しい時間を過ごす
ことができました。1番の盛り上が
りは、最後に我々の学年で誰もが
知っている、丸山君の音頭のもと、
全員の手拍子で締めた場面でした。
大盛り上がるのうちに2次会へと流
れて行きました。

次回開催は平成31年の予定です。



第十八回 同窓の夕べ盛大に開催

第十八回「同窓の夕べ」が平成二十六年九月二十日に参加二四六名を得て盛大に開催されました。世話人は末尾「七」の期で構成。式部広記三の進行で開始。開会に先立って例年通り吹奏楽の演奏から始まりました。依然として局員が減って編成が小編成となりましたが例年通り狭いステージを物ともせず、ノリノリで元気にオーブニングを飾ってくれました。

中本実行委員長の挨拶、大西会長より参加者へのお礼、岡戸校長より簡単に学校の近況を報告して頂きました。引き続き十三回生・吉川 保さんの音頭で高らかに乾杯。楽しい宴に入りました。十八年間続いてきたビュッフェ形式のお料理でお腹を満たし、美味しいビールでのどを潤しました。

同窓会の夕べ名物・お名前ビンゴは二十七期、ジャンケンボンは三十七期、お楽しみ抽選会は四十七期で担当して今回も夕べを盛り上げてくれました。宴も終盤に入り、加藤公一さん指揮、山岸久仁子さんのピアノ伴奏で参加が一人となった旧中先輩が「雪解の水を湛えたるよ」を高らかに独唱。引き続き全員で久し振りの校歌を力一杯歌いました。

最後の締めになり、今回から使い始めの新しいタスキが中本実行委員長から次期実行委員長・宮岸徹二さんへ手渡され次回への決意表明。盛会の中、夕べは閉会となりました。



乾杯は吉川 保さん



岡戸校長挨拶



大西会長挨拶



中本実行委員長



司会進行式部広記さん



校歌斉唱の指揮者・加藤さんと伴奏者山岸さん



宮岸次期実行委員長



吹奏楽演奏



会場風景



じゃんけん大会



抽選会で奮闘する杉山さん



旧中校歌独唱は沼田さん

同窓の夕べ 開催のお知らせ

第十九回「同窓の夕べ」を次の通り開催致します。

日時 平成27年9月19日(土)
開演 午後6時(吹奏楽部の演奏)
開会 午後6時半
会場 プラザホテル板倉
(深川市3条6番)
会費 2,000円(当日券あります)

実行委員会は十八期、二十八期、三十八期、四十八期、五十八期が担当です。実行委員長は十八期の宮岸徹二さんです。毎回ジャンケンの勝ち残りの期は同期で二次会の費用にしているようです。お名前ビンゴ完成で「ビンゴ～」で挙手してステージに走りだすのがたのしいし、毎年、趣向を凝らした商品での抽選会での盛り上がりが親睦を深めます。昨年から開催日を変更。九月の第三土曜日に固定しました。遠方の同窓生の方も都合が付きましたらこの日程に合わせて参加して戴けたら嬉しいです。多くの同窓生の参加をお待ちいたしております。



4月27日



野球部 春・北大出場 5月20日



バドミントン全国大会激励



8月18日



6月6日



12月15日



11月10日



全国大会出場各部長全員で

◎校旗作成

(900×1,350

10枚) 国旗掲揚

塔に掲揚する校

旗の在庫がなく

なったため補充をしました。



校旗作成

◎プレス幕作成

全体で2.45m×5.25mのものを作成しました。(1マス35cmのものを7マス×15マスで1枚となる) 既存のものより一回り大きなものを作成しました。

右下スミに 贈・宮脇 敬(4期)と記入させていただきました。

◎たすき作成

同窓の夕べの実行委員長長継ぎ時に使用するものです。文字は「実行委員長」といたしました。

激励会日程と内訳

2014. 7. 16	全国大会	バドミントン部	～ 女	7
全国だけでなく北海道大会出場にも激励金の支給を行う				
2014. 8. 18	北海道大会	バドミントン部	8. 22	男 4
		ソフトテニス部	9. 13	女 4
		陸上	9. 24	11
		写真部		2
11. 10		バレーボール部	11. 18	女 14
12. 15		卓球部		男 6
		バドミントン部		男 18
				女
2015. 4. 27	北海道大会	バドミントン部	5. 8	男 5
				女 6
5. 20		野球部		
6. 6		バドミントン部		男 女
		弓道部		1
		陸上		多
		卓球部		4
		水泳部		1
		放送部		2

母校のコーラス大会は第59回にも 審査員として招かれて



第11期生 加藤 廣一

コーラス大会の審査員は、こしはらくは校内で校長・教頭・音楽担当・その年の新任などの先生を選んでいただくこととなり、今年は校外からも招きたいとなり、同窓会に相談があり、同窓会からよくと山岸久仁子さんを推して下さったのでした。

五月十五日、文化交流ホール「みらい」は若者の熱気でムンムン。かわいいわが孫と同年代ですが、これから大切なことを始めようとする彼らのパワーに、「かわいい」より力強さを感じました。

大会の運営と進行は生徒会の担当の学芸委員会が進めていました。生徒たちの行動はそれに従っていたので、終日、安心して身をおくことが出来ました。

最初の「連合合唱」は四つのクラス縦割り、課題曲「時の旅人」の演奏です。初めての一年生も上級生に抱かれ、上級生たちはよくリードして、どの連合もいい演奏をしました。審査は①ハーモニ②発音③表現④態度で得点を出しましたが、いずれでもほとんど優秀をつけ難く、本当に審査員泣かせでした。

次の「クラス合唱」は全て自由曲の演奏です。選曲作業は新学期始まりに取り組まれ、どのクラスも苦勞の跡が感じられました。演奏だけでなく、指揮者の合図でサッと内側に向きを変えたり、クラスそれぞれにデザインしたTシャツを揃えるなど、団結力を示していました。審査結果では、全体としては三年生が上位をとり貫禄を見せますが、下の学年が上の学年に割り込むこともあり、その時は、歓声に深いため息が混じり「第三者」には暖かいものが沸いてきました。

審査の対象ではありませんが、「職員コーラス」は先生と生徒のとてもよいつながりを見せてくれました。模範演奏にはなりません、恩師たちがこぞステージに立ち、懸命に歌う姿は教師集団への信頼になります。拍手に笑い、

かけ声が多いのは、その証拠です。さて、「講評」なるものを語る役目をいただきましたので、いくつかのことを語りました。

まず、演奏のレベルです。コーラス大会は当初というか、長く「無伴奏」でした。それがピアノ伴奏が認められるようになったこともあって、音程もよくとれてレベルの高い演奏になりました(伴奏のよしあしは審査の対象になっていません)。ただ、曲全体の構成や歌詞の内容表現が不十分で、幅や深さに不満が残りました。

しかし、練習は八日間しかなく、公平にとその時間を指定していますので、音とりだけで大半を使うことになっているでしょう。コーラス推進委員という組織も作られていましたので、よくがんばったと想像出来ました。この経験から、さらなる工夫が生まれてくれることを期待しました。

演出のことでは、指揮者が演奏とはちがうハデな衣装で登場した時代がありました。今日はそのようなこともなく、みんな衣装を揃えるなどしていても、あか抜けて進化を感じました。何よりお話ししたいことは、このコーラス大会が五十九回も続いている、自分たちのことだと生徒の手で取り組んでいるということです。これが「深川西高の伝統と誇り」です。私たち卒業生は、今も「西高生」であったことを誇りにしています。みなさんも間もなく、深川西高で学んだことに「誇り」を感じる時が来るでしょう。

〈結び〉 来年は六十回になります。講評の時、「六十歳は何といえますか」と問うと「更年期」と誰かが声を上げ、みんな大笑いして笑わせたことがありました。還暦なんて十代の若者に長寿のことなどに関心はなく、その域に達したものが感慨深く思うことかも知れません。第一回を経験した者にとっては、来年は楽しいものです。屈託のない若者の歌声を来年も聴きたいと願っております。素敵な機会を与えて下さった関係者に感謝しています。



全校合唱

第59回コーラス大会 & 第66回学校祭



全校合唱

この会報では巻頭言で学校長の挨拶を頂くところですが二号からはずっと学校行事の挨拶を転載しています。同窓生に臨場感溢れる現状を知っていただき、時代の流れを理解していただくことがこの会報の役目なのかと思ひ紹介させて頂いています。

【第五十九回コーラス大会】 コーラス大会に寄せて

校長 岡戸 康浩

今年も伝統あるコーラス大会が開催されることになりました。五十九回を数えるこの大会を継続実施できますことは、ひとえに保護者・地域の皆様の支援の賜と存じます。心より感謝申し上げます。練習期間が九行事などの関係で、練習期間が九

日間という短い期間しかとれていません。そして限られた練習時間の中で、クラス発表、連合発表がなされることは、とても困難なことが予想されます。そのような状況の中で、毎年素晴らしい発表ができています。先輩方の取り組み・財産をしっかりとして受け継いでいるからだと思います。

心をひとつにして、皆で作品を創り歌い上げる体験は、大きな達成感を味わうとともに、聴いている方々に大きな感動を与えてくれるものと思っています。

今日の発表まで、色々な苦労があったと思います。「責任者として、どうまとめたいか」「やる気をどう引き出すか」「練習時間の確保が難しい」など数えればきりがありません。多くの壁を乗り越えて本日を迎えたことでしょう。その苦労は、今

日の発表で報われます。コーラス大会をおして、仲間と協力することの大切さを学び、そして困難を乗り越えて、ひとつのものを創りあげることの難しさを経験しました。しかし、成し遂げたときの充実感は、何ものにも代え難いものだと思います。皆さん方は確実に成長しています。

今年の連合課題曲「時の旅人」の歌詞にある「未来への扉 開こう」「すばらしい明日に 会いにゆこう」を實現するために、日々の学校生活を充実したものにしていきたい、元氣のある、気持ちのこもったコーラスが発表されることを楽しみにしています。頑張れ、深川西高生!!

【第六十六回学校祭】 今年のテーマは

「人間万事最高が、今」

日程

七月四日（土）

開祭式・連合演劇・吹奏楽・アピール・生徒会企画

七月五日（日）

連合演劇・生徒会企画・行燈行進・行燈ファイナール

七月六日（月）

総後片付け・開祭式で結果発表

以前も書きましたが学校祭の変遷が社会の変わりようにと密接に関係しています。教室での展示や発表は写真、華道、美術のみになりました。昔を知る方には寂しい限りです。バザーも食品衛生上から昔のように作って販売は無理になりました。若さを十分に発揮できるのは校舎前で繰り広げられる組別

課外活動



美術部・写真部合同展
二〇一五年三月十七〜三十一日
アートホール東洲館市民ギャラリー



アピールタイム

のアピール合戦でしょう。創意と工夫を凝らした独創的なダンスや選曲で溢れるような若さがはじけている。駐車場は別世界のような空間です。いつもながら楽しみなのは色彩豊かな行燈行列でしょう。組別に声を掛け合いながら市内を練り歩きます。西へ沈んだ太陽が幾らか明るさを残す中、花火を合図にファイナールへと誘います。一年間の中でも生徒たちの大きな楽しみとする催しは時代が変わっても変わらねえ。こうして生徒の熱い夏も終わりました。仕組みや内容が変わっても、先輩から後輩へと熱い思いの流れはつながっています。



バドミントン部新聞記事掲載

バドミントン

全道大会・北ブロックで佐々木百花さん（3年）花田麻由さん（2年）女子ダブルスで優勝。7月28日から始まる京都府で開催される高校総体に出場する。

陸上

全道大会で3,000m障害で馬場勝五君は自己ベストを更新し6位入賞、高校総体への出場権を得た。和歌山で開催される大会に向けて暑さ対策に励んでいる。

（2015/7/10現在） 北空知新聞より提供（写真）

高校体育連盟大会成績 全道大会

【陸上】 札幌市	
[男子]	
100m	2-2 長内 大貴 DNS
200m	2-2 長内 大貴 DNS
800m	3-1 馬場 勝五 予選敗退
	3-1 高崎 恭平 予選敗退
5000m	2-1 馬場 勝五 DNS
3000mSC	3-1 馬場 勝五 6位 全国大会へ
400mR	1-4 阿部・2-4 近藤・予選敗退
	2-1 奥山・1-2 吉沢
1600mR	2-4 平林・2-4 近藤・予選敗退
	1-4 阿部・3-1 高崎
走幅跳び	2-2 長内 大貴 NM
走高跳び	2-1 奥山 耀太 NM
砲丸投げ	3-3 谷村 拓海 予選敗退
円盤投げ	3-3 谷村 拓海 予選敗退
やり投げ	3-3 谷村 拓海 DNS
[女子]	
100m	2-2 福田奈留美 予選敗退
200m	1-4 今田 玲菜 DNS
400m	1-1 馬場 絢女 予選敗退
800m	1-1 馬場 絢女 予選敗退
	3-2 北井 里実 DNS
1500m	3-2 北井 里実 予選敗退
	3-2 小山 菜月 予選敗退
3000m	3-2 小山 菜月 予選敗退
	3-2 北井 里実 16位
5000mw	2-4 柴田 梨乃 5位
400mR	1-1 松本・1-4 今田・予選敗退
	2-2 福田・1-1 馬場
1600mR	2-2 福田・1-4 今田・予選敗退
	1-1 馬場・2-4 柴田
走高跳び	1-4 今田 玲菜 予選敗退
走幅跳び	1-4 今田 玲菜 15位
円盤投げ	3-2 稲沢 綾 予選敗退
やり投げ	3-2 稲沢 綾 予選敗退
DNSとは、レース競技にエントリーした選手が何らかの事情でスタートしなかった場合のこと、欠場、棄権。	
【野球】	
《春季北海道大会》 札幌円山球場	
	深川西 4 対 6 白樺学園 1 回戦敗退
《夏季》	
・支部予選	準決勝 深川西 5 対 2 滝川西
	決 勝 深川西 2 × 対 1 岩見沢東
	北大会出場・2 年連続 7 回目
北北海道大会 別項で紹介	
【バドミントン】 北見市	
[男子]	
団体	北北海道ベスト 8
ダブルス	稲垣雄大・岡田汰一組 2 回戦敗退
[女子]	
団体	北大会 3 位
ダブルス	佐々木百花・花田麻由組 北大会優勝
	全道決勝 2 位
	田中 万貴・中村 華組 北大会 3 位
シングルス	花田 麻由 佐々木百花 北北海道ベスト 8
	田中 万貴 1 回戦敗退
【弓道】 釧路市	
個人戦	鎌田 祐実 決勝敗退
【バレーボール】 帯広市	
[女子] 深川西×恵庭南で敗退、予選グループ戦突破できず	
【卓球】 芦別市	
個人戦	
ダブルス	田巻・池田組対尚志学園 0-3 敗戦
	定岡・穂刈組対尚志学園 0-3 敗戦
【水泳】	
200m個人メドレー	2-4 毛利 予選敗退
200m自由形	2-4 毛利 予選敗退
【放送局】 伊達市	
	テレビドキュメント部門 入賞ならず

野球部大活躍

昨夏の第九十六回全国高校野球選手権空知地区決勝では滝川西との戦いを制し、勢いに乗って旭川スタルヒン球場で開催した北北海道大会では優勝した武修館に一回戦で惜敗した。

雪辱を期して打力の向上を目指して練習に励み、今春の第五十四回春期北海道高校野球大会では九年ぶりに出場を決めた。札幌円山球場で開催された一回戦で、後一步と言うところまで白樺学園を追い詰めたが惜しくも敗退した。

今夏の第九十七回全国高校野球選手権・空知支部予選では決勝戦において岩見沢東に延長戦でサヨナラ勝ちし、二年連続八回目の大会進出を決めた。全道大会の一回戦の相手は又もや白樺学園となったが、因縁の試合となった感の今回は前回の雪辱を果たすため練習に励み挑んだが健闘空しく三対〇で敗退した。暑い大会は熱い戦いの中で終わったが秋期大会へ向けて既に練習に打ち込んでいる。

私は昭和十七年四月、庁立深川中学校に入学したが、昭和十九年、中学二年の二月、旭川第七師団で陸軍の特別幹部候補生の試験を受ける。三月ニシンの勤勞奉仕で江丹別に身欠きニシン作りに行き、終わって学校の授業。四月に入り特幹の合格通知が来る。「八月五日、浜松第百三十部隊へ入隊せよ」とのこと。四月、五月は授業で、七月に入り援農でメムの丹さんの家へ。そして七月二十日、町内会、国防婦人会、同級生などの旗行列の見送りを受け深川駅より上京。

途中、何とか連絡船で本州に渡り、山形の上山（かみのやま）温泉で一泊。一緒に行った父の知り合いの弓師に会う。それから東京の親戚三軒を挨拶回り（これは「別れ」の心算）。名古屋の叔父の家にも挨拶し、八月五日浜松の部隊に入る。通信兵として頭を叩かれながら「トンツ」を学ぶ。

一期の検閲を終え、十一月水戸の通信学校へ転属、翌、昭和二十年三月卒業。四月、満州の関東軍へ転属命令を受け新京に向けて出発し博多に到着。「十八時、博多港を出る船に乗れ」と言われ、その間時間があるので市内見物に出る。私は十五人の引率責任者なのだが、十八時を八時だけ聞き、午後八時だと思い込み、午後七時半頃港へ戻る。船はすでに午後六時、出航していた。将校に散々殴られ、飯も寝るところもなく、倉庫のコンクリートの上でゴロ寝のハメに。ところが翌朝、前日の将校がニコニコして弁当を持ってきて「貴様等くらい運のいい奴は見たことがない。昨日出航した船は、対馬沖で米潜水艦に撃沈された。」とのこと。私たちは命拾いした訳だ。皆大喜び。次の木造船で朝鮮の釜山に向う。釜山に到着して直ぐ新京へ向け出発。三日目に配属された航測部隊が朝鮮の京城に移動したため、私は平壤の永登浦空港勤務を命ぜられた。次に京城の金舖空港、さらに大連の周水子飛行場と、一ヶ月ごとに移動。大連で終戦を迎える。本隊の京城に行くべく奉天に向う。奉天ではソ連兵に銃撃され、私の前にいた兵隊が弾にあたり死んだが、そのおかげで私は助かった。昭和二十一年の正月を奉天で迎え、この年の七月、大連より引揚船で日本へ。引揚者として無料乗車券で深川へ到着。八月十日ころである。したがって私はこの戦争で二度、命拾いをしたことになる。

九月、一年落第した形で深川四年に編入学。昭和二十三年、中学五年を卒業、東京電機高等工業専門学校に入学。翌年学制改革で同校は大学に昇格したので再入学。昭和二十八年大学を卒業したが、家の都合で電気関係の仕事には就かず、家の印刷会社の赤平工場長として勤務、現在に至る、というのが、私の人生である。

「八十代半ばのエッセイ集」第二集より

寄稿・振り返って今

松本 庄司

我等が同期同好会

それぞれの期で同好の士が色々な事を楽しんでる所を昨年も紹介いたしました。今号ではその後の経過を紹介いたします。

15回生「古希スキーで 高良野に舞う」

ついに約束の日が来た。8年目を迎えた「38(さんぱち)スキー同好会」が27年2月25日〜27日高良野新プリンスホテルに集合。2泊3日で念願だった70才のゼッケンを胸に付けさらに「矢のように滑ろう!」の合言葉

を足に付け高良野のコースに全国各地から集結した合計9名(男子4名女子5名)の勇士。



滑降開始

強運に助けられ、昨年と全く同じ天候にタイムスリップしたような晴天だ。ゴンドラ終点でお揃いのゼッケンを付けての記念写真撮影後、周りの人の注目の視線が注ぐ中、一人一人滑走、今流行のカービングスキーで皆んな古希には見えない華麗なカービングターンだが帽子とゴーグルに顔は隠れおかげで年齢判別不能は幸か不幸か。

特に女子組は年々上達し、男子に負けない滑りに感心!昨年、棚橋君(岐阜より参加)の提案で「ゼッケンを付けて滑ろう!」の思いは心にもった手作りのゼッケンとなり、さらにラミネート加工され、紐は特に古希にちなんでなんと紫色、これも経費節減で100円ショップにて購入し完成、全員分の9枚を携えて参加していただき「ありがとう!!」の一言に尽きる。

今は、記念のゼッケンを部屋の壁に飾り来シーズンも会員の再会を思っているところです。健康年齢男性71才、女性74才の事、皆さんが健康でいつまでも70才のゼッケンの年齢でいたいです。

平成27年3月7日 石黒 計

「旧中五回生」

「八十年代半ばのエッセイ集」

第二集を発刊」

「まえがき」から

平成二十六年二月、旧制深中五期生は、はじめての『八十年代半ばのエッセイ集』を発行し、この八十有余年間の思い出や近況などを、有志の方々に綴ってもらい同期生の人などに配布しました。始める前はどのくらいの方から原稿が集まるかも予想がつかず、なるべく多くの方に原稿を書いて貰いたくて一人一〇〇〇字程度と

いう枠を設けました。ところが私の予想に反して二十名という多くの方から原稿を頂戴しました。しかし反面、その方々の原稿を見ると、字数に制限されて圧縮に苦労された人も多かったように察せられました。それともう一つ、友人についてはこれまで自分が知らなかった事柄やエピソードが多く、大部分の方からは概ね好評を頂いたと自負しております。

そこで、平成二十六年度もこのエッセイ集をもう一度発行してみたいという気持ちになり、平成二十六年九月の懇親会に諮り、再度発行することにいたしました。編集方針やテーマなどは昨年度とほぼ同じなので、題名は『旧制深川中学校第五期生有志による 八十年代半ばのエッセイ集(第二集)』とすることにいたしました。

昨年度の反省から字数を三、〇〇〇以内程度とした点が大きく異なった部分です。その為か本年度は、原稿提出者は半分程度になりましたが、それでも十一名の方々に書き添えいただきました。深く感謝します。

(今回、第二集から松本庄司さんの記事をご紹介します 十一ページ)

「六回生・深川西高二九会」

「深川支部会便り」

二十七号発行」

深川支部の第十五回の総会を終えてからお互いのつながりを途切れさせない為に平成二十四年八月に第一号の会報が発行されてからこの六月で二十七号まで重ねてきています。引き続き発行を期待しています。

(今回、掲載された中から寄稿として緑の学び舎運営委員会報告の中でご紹介いたします。三ページ)

どろやなぎ

(編集後記)

▼前庭にミズナラの木が一本だけあります。例年になくたくさんさんのドングリが採れました。バケツに二杯以上の量でした。このドングリを記念植樹の時に山に蒔きました。六月、たぐさんの芽が出ていました。時いた八人の記憶の中で再訪する芽が育ってほしいものです。

▼回を重ねて漸く第七号の発行が出来ました。手刷の会報発行から通巻十七号になります。今号から無理を言って初めてカラー版になりました。夢だっただけに協力戴いた皆様のご支援に感謝いたします。

第五号から全員に送付してまいせん。二年毎に、ご協力いただいた方には毎年お送りしてありますが、その他の方は四年に一回となります。引き続き会報発行にご協力下さいますようお願いいたします。又、お知らせ合いの同窓生で未読で購読希望の方がいましたらお知らせください。

▼どうも世の中の流れが怪しい方向に向いているようではありません。声を上げ辛くなっているような気がします。言いたい放題という事にはもちろんありませんが何となく重苦しい雰囲気になつてきていると感じるのはなぜでしょう。人は同じ過ちを繰り返す生き物のようです。

▼永らく幹事長として各種事業をやらせていただきましたが、そろそろ身辺整理を考える歳になつてきました。多くの方のご協力をいただきながらどうかここまで積み上げる事が出来しました。大西幹事長を筆頭に役員の方々や同窓会の皆様のお手を煩わせる事になりますが同窓会事業の末永い発展継続の為に、今後とも

宜しくご支援をお願いいたします。(溝口信義)

【お知らせお願い】

※資料収集のお願い。毎度の事です。古い資料を探しています。年数を経てくると貴重な資料も散逸して確保が困難になります。ご提供いただけるものがあれば是非お願いいたします。お借りできるものはコピーをしてお返しします。

※創立20周年記念誌・復刻版頒布のお知らせ

昭和33年9月6日に発行された本校の記念誌「創立20周年記念誌」です。(B5判 102ページ)

頒布価格 郵送料込み 1,900円

入手希望の方は左記口座に郵便振込にてお申込みください。

※校歌・学生の歌・道徳歌のCD頒布のお知らせ

CDは卒業生へ記念品として贈呈しています。同窓生の皆さんの中で入手希望の方が居られましたら郵便振込にてお申込みいただければ送料込みの1,000円にて頒布いたします。

入手希望の方は左記口座に郵便振込にてお申込みください。

※緑の学び舎運営委員会・五周年記録史「緑魂は時空を超えて」頒布のお知らせ

残部50部ほどありますのでご協力いただければ幸いです。

(A5判 154ページ ほとんどカラ)

頒布価格 郵送料込み 1,000円

口座番号は 0277012145435

加入者名・ 北海道深川西高等学校同窓会